

**「日本摂食・嚥下リハビリテーション学会2013 トロミ早見表**

	段階1 薄いトロミ	段階2 中間のトロミ	段階3 濃いトロミ
飲んだ時	「drink」という表現が適切なトロミの程度。 口に入れると中で広がる液体の種類・味や温度によってはトロミが付いていることがあまり気にならない場合もある。 飲み込みに力を要しないストローで吸うことができる。	明らかにとろみがあることを感じ、かつ「drink」という表現が適切にとろみの程度。 口の中ではゆっくりですがすぐには広がらない。 舌の上でまとめやすい。 ストローで吸うのはやや難しい。	明らかにトロミが付いていて、まとまりが良いが送り込むのに力が必要。 スプーンで「eat」という表現が適切なトロミの程度 ストローでは吸えない。
見た時	スプーンを傾けるとスッと流れ落ちる。フォークの間から素早く流れおちる。カップを傾け、流れたあとはいっすらと跡が残る程度の付着。	スプーンを傾けるとトロトロと流れる。フォークの間からはゆっくり流れ落ちる。カップを傾け、流れ出た後には、全体的にコーティングしたように付着。	スプーンを傾けても、形状がある程度保たれ、流れにくい。 フォークの間からは流れない カップをさかさまにするとゆっくりと塊となって落ちる。

**適応基準**

\* 日本摂食嚥下リハビリテーション学会の基準ではありません。

	段階1 薄いトロミ	段階2 中間のトロミ	段階3 濃いトロミ
食事摂取状態	正常～軽度障害 食事中むせることはほとんどなく粥や刻み等を食事ができている方	軽度障害～中度障害 むせ易く、食事摂取には注意が必要で粥やミキサートロミ形態を食べている方	重度障害 ゼリー等でないと経口摂取が難しい方 与える場合も少量が望ましい 但し、でんぷんを含むトロミ剤ではべたつきが強く危険である

上記はあくまでもおおまかな目安です。